

## 民生常任委員会行政視察（概要）

### 1 視察日

令和4年11月8日（火）～9日（水）

### 2 視察項目（視察都市）

- ・学校配付のタブレットを使ったヤングケアラーの実態調査について（さいたま市）
- ・にこわ新小岩における子ども未来プラザ事業について（葛飾区）

### 3 参加委員

委員長：松本 泰典 副委員長：安孫子浩子

委員：塚 理、青木 順子、円藤こずえ

### 4 調査概要

さいたま市では、ケアラーが抱える悩みを一家庭の問題ではなく社会問題として認識し、ケアラーを社会全体で支えていくために「さいたま市ケアラー支援条例」を制定し、令和4年7月1日に施行した。条例の制定にあたり、市立中・高等・中等教育学校におけるヤングケアラーを把握し、その支援につなげるための実態調査を行っており、その方法として、生徒1人に1台配付されているタブレット端末を使用した。調査後の支援については、教職員による学校内での支援のほか、教職員自身がヤングケアラーに関する理解を深めるための研修を実施していくとのことである。

葛飾区では、妊娠期から子どもが成人するまで切れ目なく支援する仕組みを「葛飾区版ネウボラ」として推進しており、区立の基幹型児童館及び併設の保育園の建て替えに合わせ、子育て世代包括支援センターの機能を有する施設として「子ども未来プラザ」の整備を進めている。主な事業としては、妊娠期「ゆりかご葛飾」や乳幼児期を対象とした「もぐもぐランチ」、学齢期以降を対象とした「まなびの広場」などを行っている。子育て施設の整備については、区内で7か所の子ども未来プラザを順次、開設する予定としている。



### 5 委員長所感

さいたま市のヤングケアラー実態調査については、ヤングケアラーであることの認識が調査の正確性に影響することがわかった反面、タブレットを活用したことにより、教職員の事務負担の軽減や結果の集計の時間短縮につながったとのことである。葛飾区の子ども未来プラザ事業については、葛飾区版ネウボラを中心となる新施設「にこわ新小岩」を視察し、地域の子育て力向上の取組について説明を受けた。地域の子育て経験者が子育て中の保護者を支援する場の提供やボランティアの育成・支援を図り、協働して地域の子育て支援のニーズに対応する取組については、本市でも参考にしたい。